

工事出来高確認のために行われる、 複数の工事書類の確認業務の負担軽減を図りたい！

課題



- 配水管の整備工事（単価契約）の出来形確認のために、受注者は相当数の書類（「工事写真帳」「積算システム用入力データ」「数量計算書（完成図）」等）を作成しており、これらの書類には重複した内容も含まれている。
 - 局職員は、それらの書類を、横断的に確認（書類間の突合など）しており、工事完了後に集中して行うため、その作業負担を軽減し、業務の効率化・平準化をしたい。
- ※ 複数ある工事書類間につながりを持たせ、書類の確認作業の負担を減らすことを想定している。

背景

- 小規模な工事でも多岐にわたる書類の作成、確認が必要であり、受発注者ともに負担となっている。
- 出来高数量の確認にあたっては、「工事写真帳」「積算システム用入力データ」「数量計算書（完成図）」といった複数の書類間での横断的な確認及び突合作業が必要で、同じ書類を複数回確認するため、煩雑となっている。
- 工事完了後に多くの資料をまとめて確認するため、業務が集中する時期が生じている。

現場からの コメント



- 日々確認を行った箇所は可視化し、工事完了後は集計結果の確認ができるようご提案ください。
- 開発工程で参照するデータとして、実際の工事書類を閲覧可能です。
- 課題解決に向けシステム導入も含め検討しており、誰もが直感的に扱える仕組みを求めています。

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

【担当部署名】

水道局給水部（配水課）

【担当部署概要】

配水管整備工事（単価契約工事）の
起工・運用業務